



みらか
ホールディングス

みらかホールディングス株式会社 2016年度(2017年3月期) 第2四半期決算説明会

2016年 11月 1日

※本資料では、記載している部分を除いて、日本基準（J-GAAP）に基づく数値にて開示しております。

※本資料では、数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。

※各事業名については以下のとおり省略する場合があります：

IVD：臨床検査薬事業 CLT：受託臨床検査事業 HR：ヘルスケア関連事業



2016年度 上期 業績概要 (1)

対前年同期 減収、増益(営業利益)

ナビラボ中止によるPJ整理損失(特別損失)の計上により当期純損失

(単位：億円)

	15年度上期 実績	16年度上期 実績	対前年同期 増減(率)	対期首通期 予想進捗率
売上高	1,059.8	1,026.5	-33.3 -3.1%	49.4%
営業利益	137.7 13.0%	147.1 14.3%	+9.4 +6.9%	55.9%
営業外損益	-8.9	-14.7	-5.8 -	-
経常利益	128.8 12.2%	132.4 12.9%	+3.7 +2.8%	53.3%
特別損益	18.5	-181.8	-200.3 -	-
税金等調整前 当期純損益	147.2 13.9%	-49.4 -4.8%	-196.6 -	-
法人税等	82.0	1.6	-80.4 -98.0%	-
親会社株主に帰属する当 期純損益	65.3 6.2%	-51.0 -5.0%	-116.2 -	-37.8%
EBITDA (※1)	212.0 20.0%	215.3 21.0%	+3.3 +1.6%	-

(※1) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

●営業外損失：為替差損(8億円)、持分法による投資損失(7億円)

●特別損失：ナビラボ開発の中止によるプロジェクト整理損失(147億円)、訴訟損失引当金繰入(29億円)

2016年度 上期 業績概要 (2)

売上高： IVD、CLTで減収（為替影響を除くと増収）

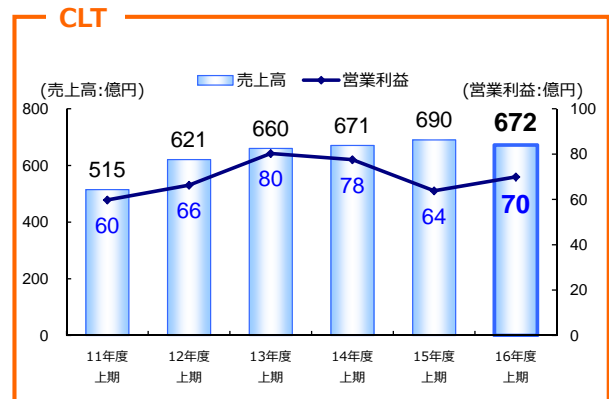
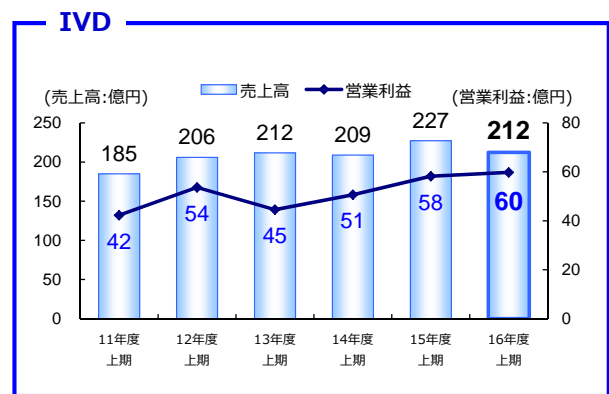
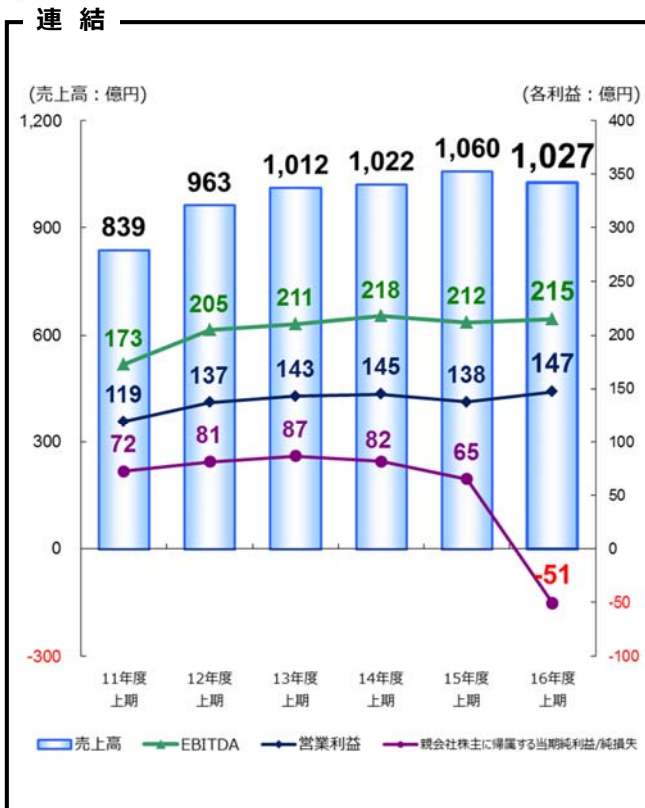
営業利益： 各事業で利益改善し増益

(単位：億円)

	15年度上期実績	16年度上期実績 (決算値)		実績 (CER ^{※1})	
			対前年同期 増減 (率)	対前年同期 増減 (率)	対前年同期 増減 (率)
売上高	1,059.8	1,026.5	-33.3 -3.1%	+3.8 +0.4%	
臨床検査薬 (IVD)	227.3	212.4	-14.9 -6.6%		
受託臨床検査 (CLT)	690.3	672.3	-18.0 -2.6%		
ヘルスケア関連 (HR)	142.3	141.8	-0.4 -0.3%		
営業利益 (※2)	137.7 13.0%	147.1 14.3%	+9.4 +6.9%	+15.6 +11.4%	
臨床検査薬	58.2 25.6%	59.9 28.2%	+1.6 +2.8%		
受託臨床検査	63.8 9.2%	70.0 10.4%	+6.2 +9.7%		
ヘルスケア関連	14.8 10.4%	16.1 11.4%	+1.3 +9.1%		

(※1) CER(Constant Exchange Rate)：前年度の期中平均レートを用いて当年度の業績を計算
 (※2) セグメント利益調整額 (15年度上期：0.9億円、16年度上期：1.2億円) を含んでおります
 【為替レート】 15年度上期：1USD=121.81JPY, 1EURO=135.08JPY
 16年度上期：1USD=105.34JPY, 1EURO=118.21JPY

上期業績推移

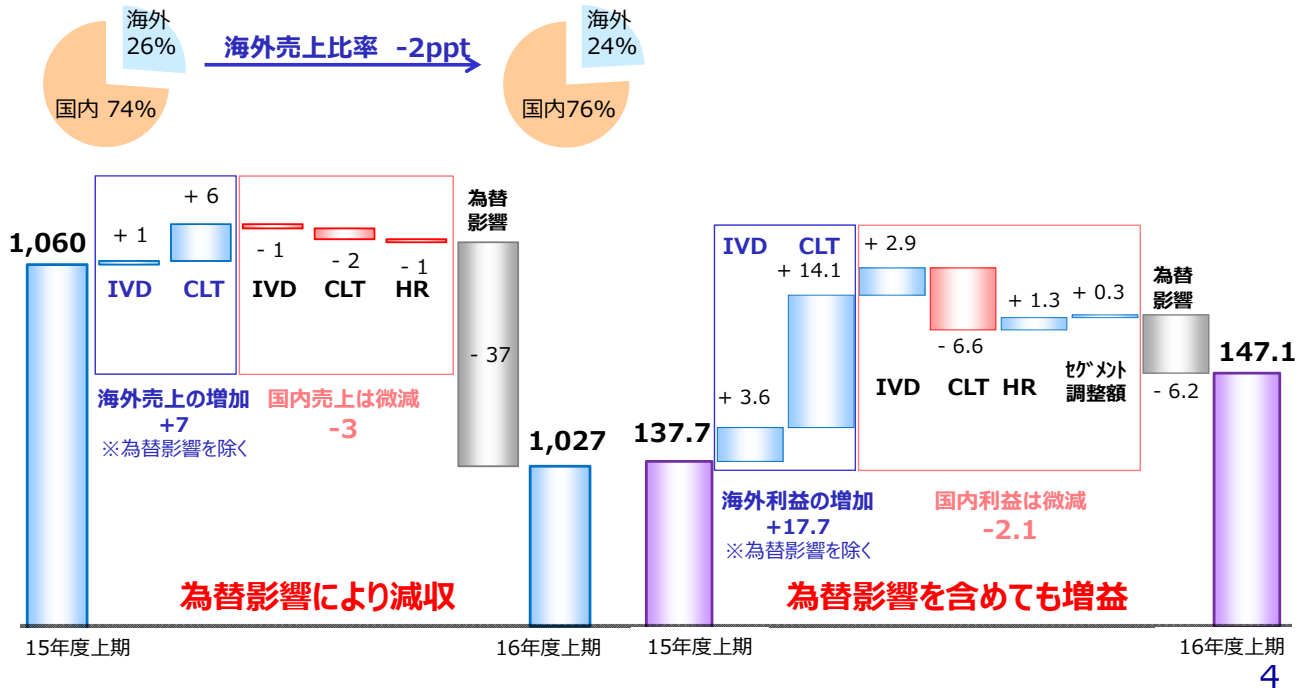


2016年度上期業績 対前年同期増減の主な要因

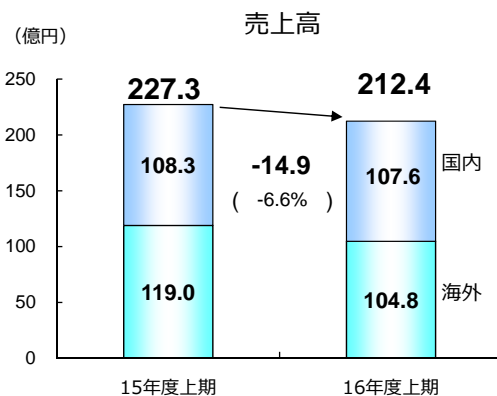
売上高 -33.3億円 (-3.1%)、営業利益 +9.4億円 (+6.9%) の減収増益

■ 売上高 (連結) (単位: 億円)

■ 営業利益 (連結) (単位: 億円)

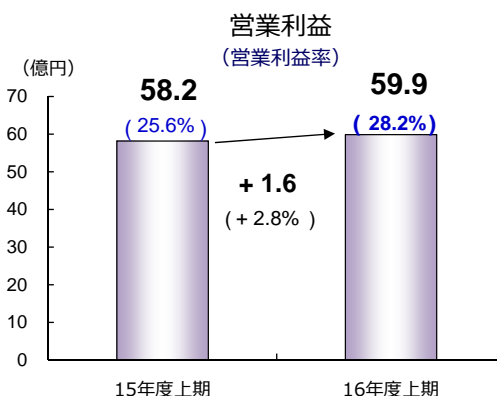


2016年度上期業績 1. IVD事業 : 減収、増益



◆ 売上高 -14.9億円

- 国内：LP試薬の売上増
- 米国：原材料供給事業の伸長
- 為替影響による減収：-15億円

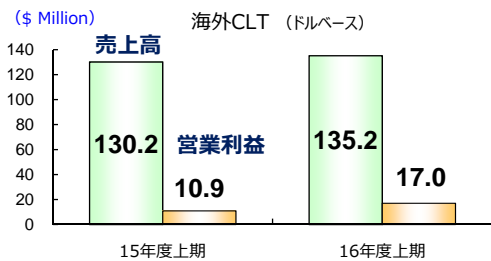
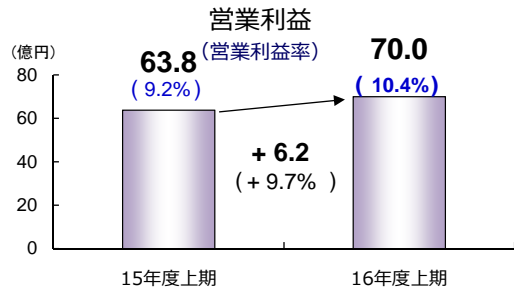
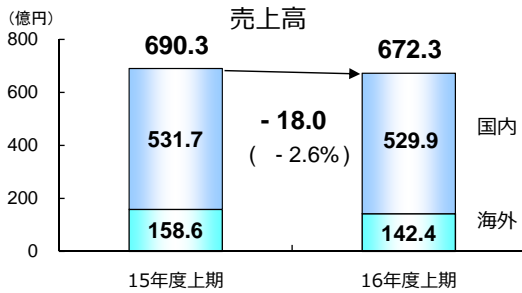


◆ 営業利益 +1.6億円

- プロダクトミックスによる収益性改善
 - LP試薬、原材料供給等の伸長
- 販管費の減少
 - 人件費の圧縮
 - 前年度研究開発費の反動減

2016年度上期業績

2. CLT事業 : 減収、増益



◆ 国内事業

- 売上高 -1.8億円
 - ・売上高は前年並み
 - ・価格下落は軽微
- 営業利益 -6.6億円
 - ・減価償却費及び経費の増加(北`ホ`等)

◆ 海外事業(MLS)

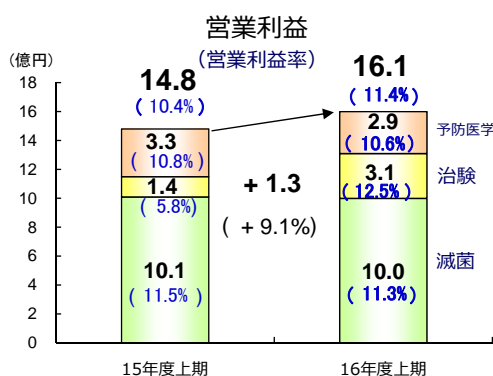
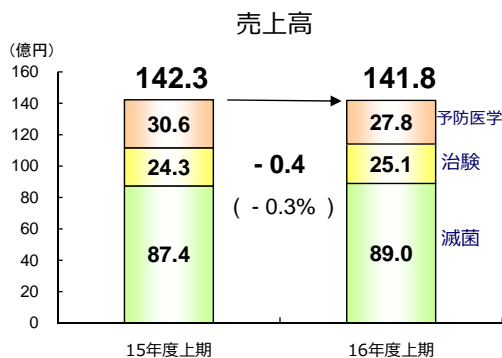
- 売上高 -16.2億円、営業利益 +12.7億円
 - ・為替影響による減収：-22億円
 - ・のれん償却費減少による増益：+8億円

【現地通貨ベース、のれん償却前】

- 売上高 +\$5.0M (3.8%増収)
 - ・業務量増加の影響
- 営業利益 +\$6.1M (56.1%増益)
 - ・売上増に伴う利益増

2016年度上期業績

3. HR事業 : 微減収、増益



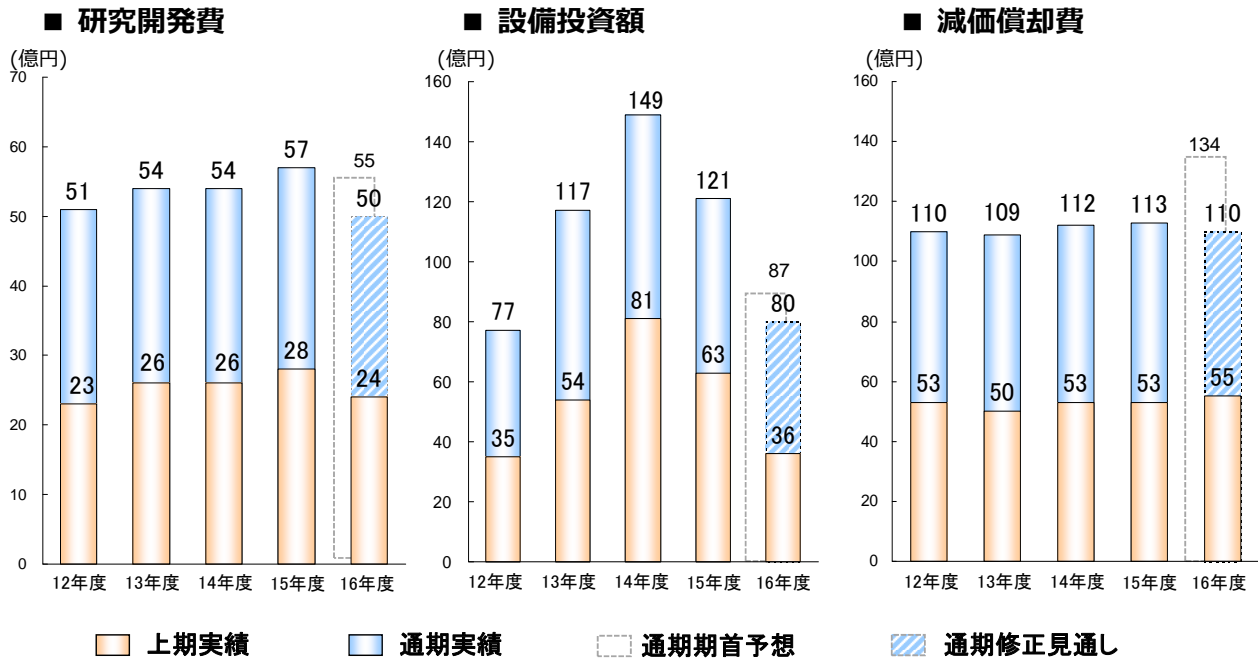
◆ 売上高 -0.4億円、営業利益 +1.3億円

- 滅菌事業: 増収 +1.6億円、利益は前年並み
 - ・新規顧客獲得による増収

- 治験事業: 増収 +0.8億円、増益 +1.7億円
 - ・前年度に着手した事業構造改善の効果が継続

- 予防医学: 減収 -2.8億円、減益 -0.4億円
 - ・感染防止商品の終売

研究開発費/設備投資額の推移 (連結)

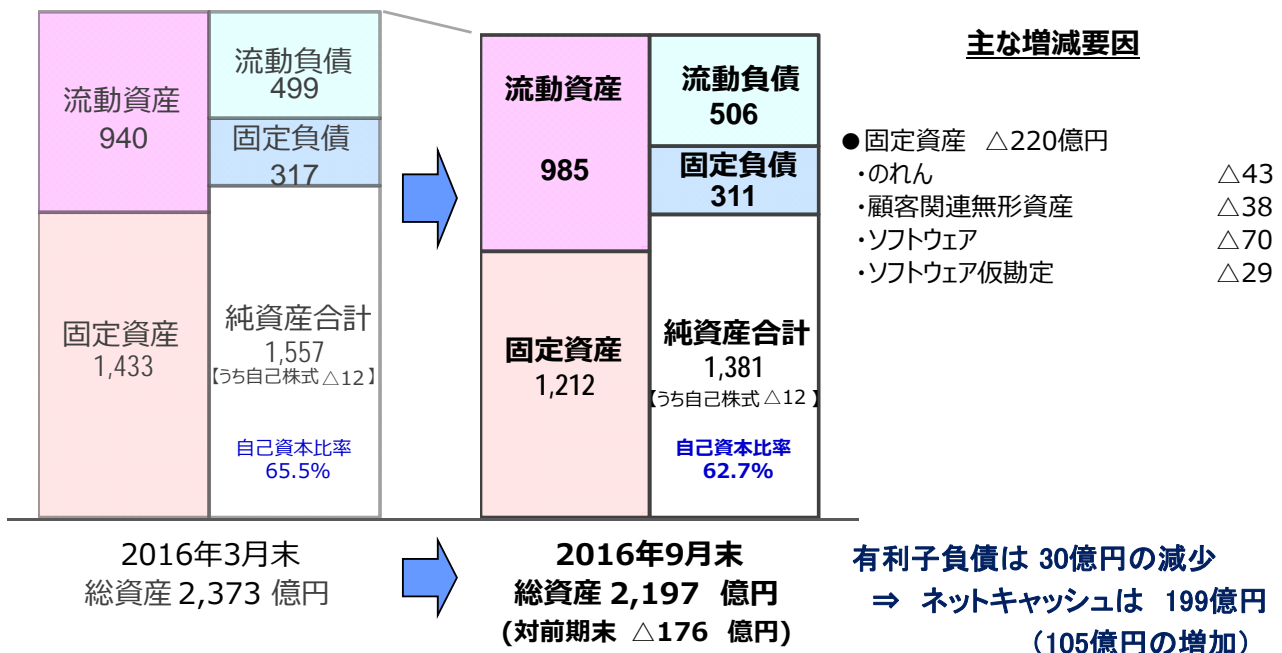


16年度のポイント(下期修正後)

- ・研究開発費 : 2015年度の一過性費用(機器開発)の反動減
- ・設備投資 : ナビラボ開発中止に伴い対前年で減少
- ・減価償却費 : ナビラボ関連の資産をプロジェクト整理損失として計上したため、対期首計画で大幅減

連結貸借対照表の概況

(単位: 億円)



【期末為替レート】 2016.3末: 1USD = 112.69JPY、2016.9末: 1USD = 101.12JPY

連結キャッシュフローの概況

(単位：億円)

	15年度上期	16年度上期
税引前当期純損益	147	-49
減価償却費	53	55
プロジェクト外整理損失	-	147
のれん償却額	22	13
その他営業CF	-65	32
営業CF	157	197
固定資産の取得	-61	-37
その他投資CF	-0	-1
投資CF	-62	-38
FCF	96	159
財務活動CF	-56	-66
現金同等物換算差額	1	-19
増 減	41	75
現金同等物 期首残高	273	317
現金同等物 残高	314	392

主な増減要因

営業CF：前年同期より40億円の増加
 ※プロジェクト外整理損失は上期CFに影響なし

投資CF：前年同期より23億円の減少
 ・ 前年のシステム開発投資の反動減

⇒FCFは63億円の増加

財務CF：前年同期と同水準
 ・ 借入金返済、配当金の支払等

⇒ 現金同等物は、15年度期末より
 75億円の増加

10

ナビラボプロジェクトの中止について

11

ナビラボプロジェクトの中止について

ナビラボ開発・導入の目的

- 業務システムの統一化
- 業務の抜本的効率化
- 顧客サービスの向上
(Web報告・TAT短縮・トレーサビリティ)

新たなITシステムによる収益の向上

中止の背景

- 度重なる追加開発
- サテライトラボで部分稼働するが、採用顧客が増加せず、中央ラボへの導入が遅延

**本格稼働に必要な追加開発コスト
及びリスクを客観的に評価**

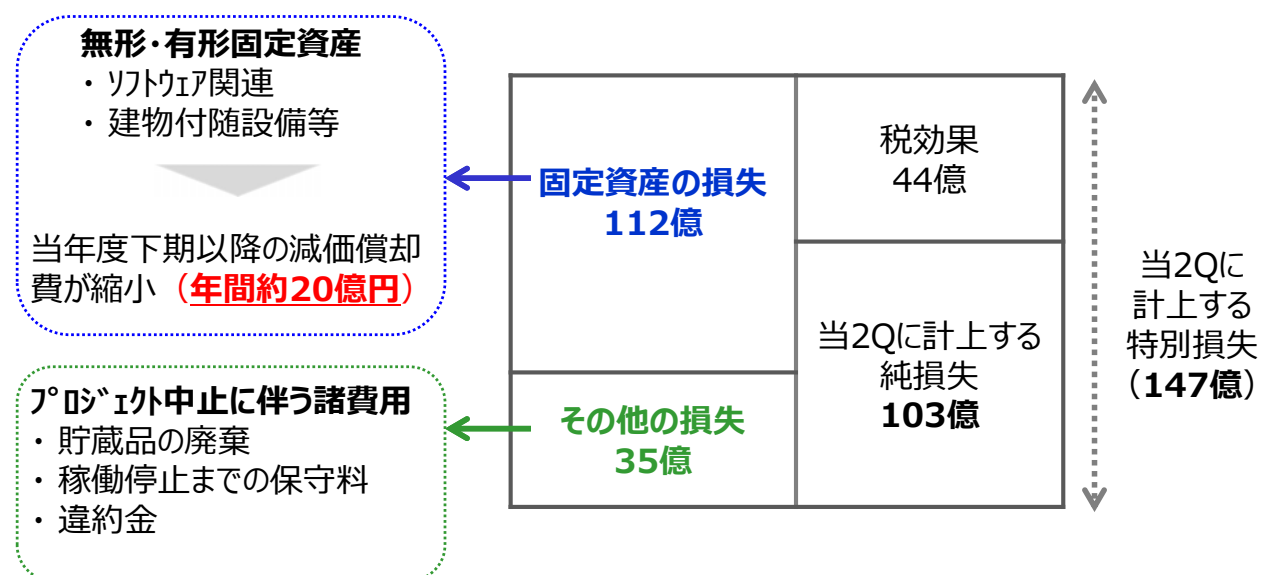
**当初想定 of 収益向上が見込めず、
プロジェクトを中止へ**

■ 国内CLT事業の方向性

- 開業医市場への進出は継続
⇒ サテライトラボの新規設置を進める
- 事業環境への適応を見据え、総合的なラボ体制について検討開始
⇒ セントラルラボの新設も視野にゼロベースで検討(顧客及び現場ニーズを重視)
- 既存ITシステムの置き換えは必要(老朽化対策、複数システムの並存を解消)
⇒ 新規ラボ体制に即したITシステムを構築

12

ナビラボに係る損失計上と償却費

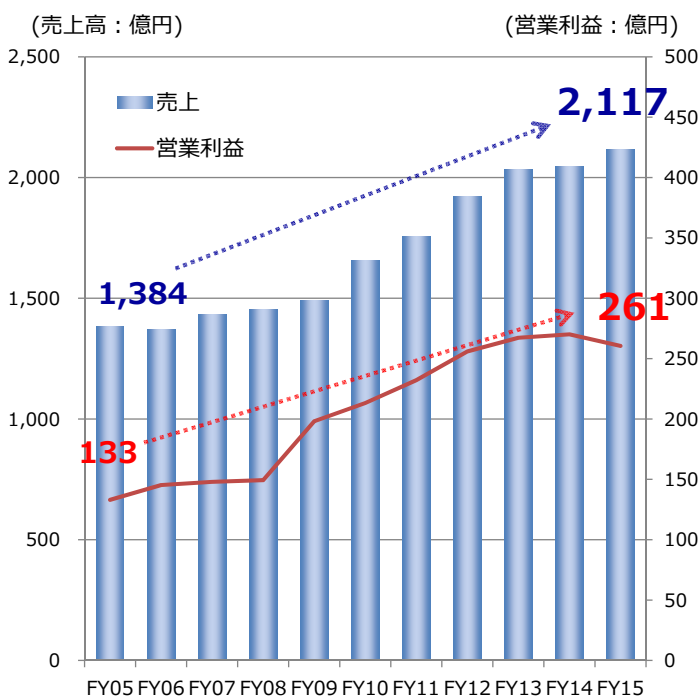


- プロジェクト整理損失147億円の内、固定資産の損失は112億円
⇒ 減価償却費負担は年間約20億円縮小する
- 当2Qに計上する純損失は約103億円

13

今後の経営の方向性

みらか設立後の10年間は経営の基礎固め



- 堅実な経営により、売上と利益は着実に成長

- 強固な経営及び事業基盤を獲得



- 一方で、近年は、売上成長が鈍化するとともに利益が伸び悩む

事業環境の変化と当社の課題

事業環境

- 社会保障費支出の抑制(医療費・介護保険)
- 少子高齢化
- ITインフラの進化
- グローバリゼーション
- 人件費/資源コスト上昇

事業環境は厳しさを増す
環境の変化は新たなチャンス
でもある

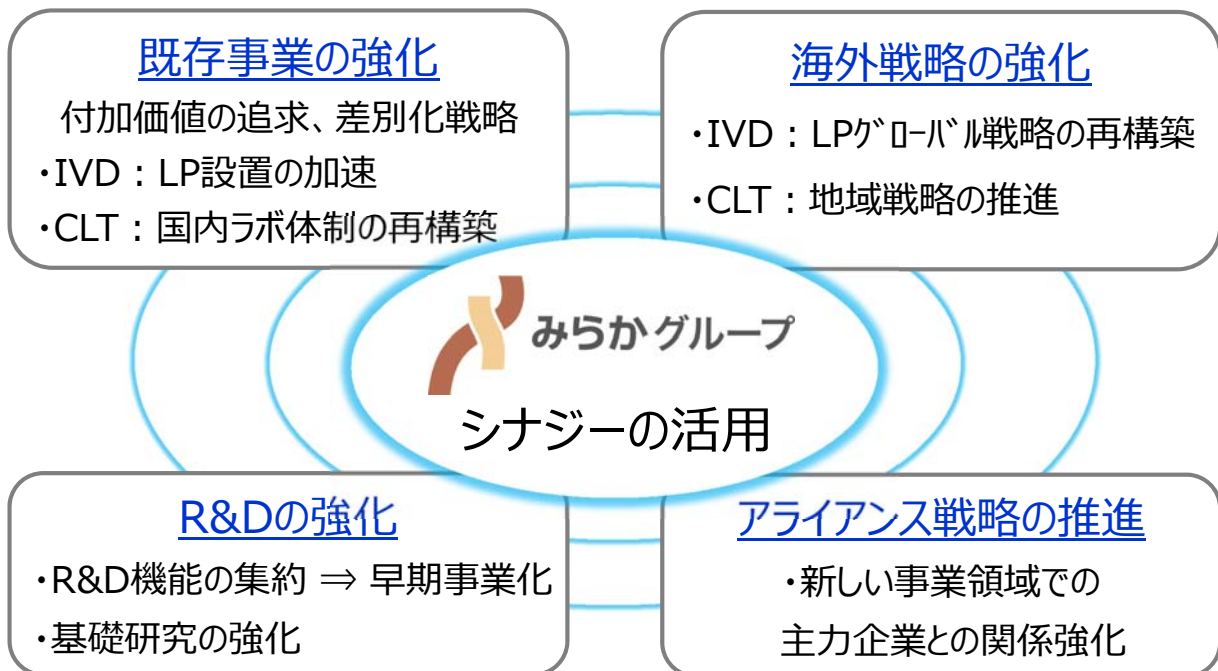
当社の課題

- 既存戦略の行き詰まり
- グループシナジーが実現できていない

新たな成長戦略の策定
早期にグループを成長軌道に
乗せていく

第二の創業、新たな10年へ

今後の経営の方向性



強固な経営・事業基盤をもとにグループを成長軌道へ

各戦略の具体的な施策については…

次期中期計画 (2016年度決算発表時に開示予定)

にてご説明いたします

18

連絡先：

みらかホールディングス株式会社

IR広報グループ TEL：03-5909-3337

将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。

19

【参考資料】

2016年度 通期修正予想

	16年度通期 修正予想 (2016/10/13)	16年度通期 期首予想	増減 (率)	(参考) 15年度通期 実績	増減 (率)
売上高	2,045	2,080	-35 -1.7%	2,117	-72 -3.4%
臨床検査薬	431	448	-17 -3.8%	458	-27 -5.9%
受託臨床検査	1,327	1,348	-21 -1.5%	1,371	-44 -3.2%
ヘルスケア関連	287	285	+3 +0.9%	288	-1 -0.4%
営業利益	278	263	12.6% +15 +5.7%	261	12.3% +18 +6.7%
臨床検査薬	108	114	25.4% -6 -5.1%	110	24.0% -2 -1.5%
受託臨床検査	140	119	8.8% +21 +17.7%	119	8.7% +20 +16.8%
ヘルスケア関連	30	29	10.0% +2 +5.3%	28	9.6% +2 +7.9%
経常利益	255	249	11.9% +7 +2.6%	238	11.2% +17 +7.2%
当期純利益	30	135	6.5% -105 -77.8%	-51	-2.4% +81 -

※ 下期為替前提： 1USD=100.0JPY、1EURO=110.0JPY

2016年度 下期修正予想

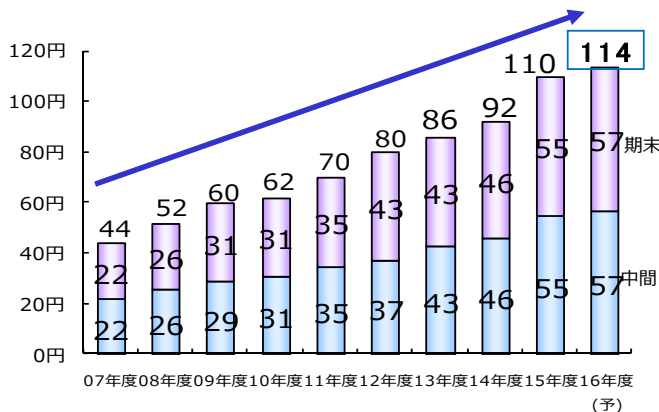
	16年度下半期 修正予想 (2016/10/24)	16年度下半期 期首予想	増減 (率)	(参考) 15年度下半期 実績	増減 (率)
売上高	1,018	1,040	-22 -2.1%	1,058	-40 -3.7%
臨床検査薬	218	229	-11 -4.9%	231	-13 -5.5%
受託臨床検査	655	667	-12 -1.7%	681	-26 -3.8%
ヘルスケア関連	145	144	+1 +0.6%	146	-1 -0.6%
営業利益	131	136 13.1%	-5 -3.7%	123 11.6%	+8 +6.7%
臨床検査薬	48	57 24.8%	-9 -15.5%	52 22.4%	-4 -7.1%
受託臨床検査	70	64 9.6%	+6 +9.9%	56 8.2%	+14 +25.9%
ヘルスケア関連	14	14 9.9%	-0 -2.1%	13 8.9%	+1 +7.3%
経常利益	123	131 12.6%	-8 -6.1%	109 10.3%	+14 +12.8%
当期純利益	81	72 6.9%	+9 +12.5%	-116 -11.0%	+197 -

※ 下期為替前提： 1USD=100.0JPY、1EURO=110.0JPY

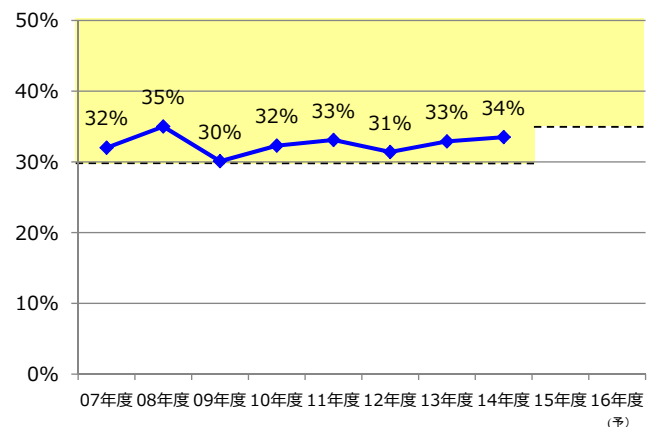
配当予想について

**中間配当額は前年より2円増配
年間配当額は114円を予定(期首予定から変更なし)**

■ 1株あたり配当金の推移



■ 配当性向の推移



※15年度、16年度の配当性向については、特別損失の影響を考慮して表示しておりません。